



目指す生徒像

- 敬愛の心があつく心情豊かな生徒
- よく考え主体的に行動できる生徒
- 体力・気力の充実した健康な生徒

今年も残すところあと一か月、生徒たちは自己の目標達成状況を確認し、その実現のために勉強や運動、部活動に一生懸命に取り組んでいます。特に、3年生は、進路選択の最終段階に入ろうとしています。来年3月には、一人一人が夢や目標をもって、陽西中を巣立っていけるように全力で指導してまいります。今後とも、保護者の皆様には、本校の教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

○ 自然を満喫し、互いに助け合い「絆」を深める冒険活動を実施！

11月8日（木）から3日間、1年生が心待ちにしていた冒険活動を実施しました。今年も寒い時期の開催となりましたが、生徒たちは、寒さにも負けず、主体的に判断・行動し精一杯活動に取り組みました。この活動を通して、生徒たちは自然の素晴らしさや厳しさを知るとともに、寝食を共にしながら友達の良さをさらに発見し、学級を超えた「絆」が一層深まったようです。今後の学校生活に生かして欲しいと思います。



【イニシアチフゲーム】



【キャンドルファイヤー】



【野外炊飯】

○ 食を通じた自己管理能力を育成する「バイキング給食」を実施！

11月8日（木）と9日（金）、3年生のバイキング給食を実施しました。この取組のねらいは、栄養などを考えて食を選び、自己の健康管理をする力をつけることです。生徒たちから「栄養やバランス等をしっかり考えて選ぶことができました。」「基準値より食べ過ぎてしまったのでもっと野菜を食べれば良かったです。」などの感想が聞かれました。今後とも、バイキングなどの給食の工夫やお弁当を取り入れ、系統性のある食育を推進してまいります。



【この栄養価は？ どれにしようかな？】

○ 第18回全国中学生創造ものづくり教育フェア(栃木県大会)に参加！

11月11日（日）に、中学生創造ものづくり教育フェアに参加しました。ロボット部門では、皆でアイデアを出し合い、工夫を凝らしたロボットを作り上げて参加しましたが、力及ばず敗退してしまいました。生徒たちの技術は年々向上していますので、次年度の活躍を大いに期待したいと思います。お弁当部門では、栄養のバランスや味のみならず、優れた調理技能や創意・工夫にあふれたお弁当を披露し、昨年に続き県中学校教育研究会技術・家庭部会長賞（栃木県第2位）を受賞しました。



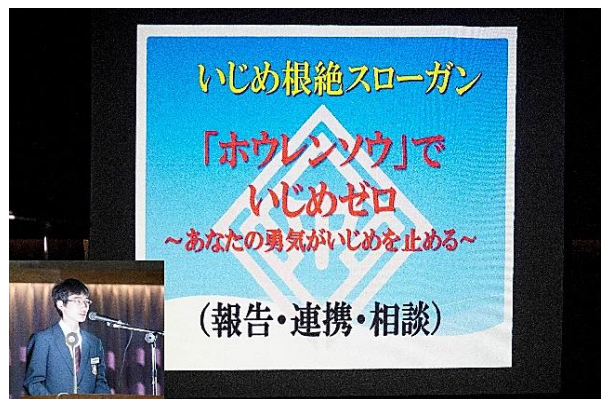
【県2位のお弁当作りをした生徒たち】

○ 生徒自らが深くいじめを考える「いじめゼロ集会」を開催 !

11月14日(水),第2回目の「いじめゼロ集会」を実施しました。今回は「同級生や友達がいじめられた時にどのように行動するか」「いじめにあったら、親や教員に相談するか」をテーマにパネルディスカッションを行いました。いじめを「止める」立場の生徒もいれば、「止めることで自分がいじめられることが嫌なので傍観する。」と様々な立場から意見交換を行いました。また、「いじめられても、大人に相談できない。」と答えた生徒の理由に、「親や周りの大人に相談することは恥ずかしい、親を悲しませるからできない。」といった意見も出されました。これに対し、「自分が親の立場なら子どもから相談されることはどう思うか?」という質問を投げかけたところ、多くの生徒が「相談してほしい。相談がないほうが悲しい。」と、周りへの相談の大切さに気づく生徒も多かったです。最後に生徒会長が「いじめにあたり、見かけたりしたときは先生や保護者など周りの大人に報告・連携・相談の『ホウレンソウ』をしっかりと行い、いじめを決して許さない、見逃さない学校を生徒全員で作っていく」ことを確認しました。



【自分の考えをしっかり発言できたパネラー】



【生徒会長によるいじめ根絶スローガン】

○ 自己の生き方を考える「Will ナビ講演会」を実施しました !

11月26日(月)に、自己の生き方を考える「第3回 Will ナビ講演会」を実施しました。社会の第一線で活躍している方を招き、その生き方に触れ、自分の生き方を考えるという取組です。今回は、JAXA(宇宙航空研究開発機構)から国際宇宙ステーションを支えるフライトディレクタに史上最年少で起用された 中野 優理香 先生をお招きし、「夢をかなえよう 宇宙に込めた私の思い」と題した講演と生徒によるインタビューを行いました。

様々な危険がともなう宇宙での仕事をサポートする立場に責任をもって取り組む先生の姿から、たくさんのお話を学ぶことができました。講演の最後に、「人生で“正しい”決断は無く、自分で“正しい決断だった”と思えるように努力をすることが大切」と生徒への力強いメッセージをいただきました。また、インタビューコーナーでは「なぜフライトディレクタになろうと思ったのですか」「過去にあったハプニングで一番大変だったことは何ですか」「地球外生命体はいると思いますか」など、生徒ならではの質問もあり、有意義な講演会になりました。

陽西中学校では今後もこのような「対話を通した深い学び」を実施していきたいと思えます。この様子は同日、「とちぎテレビ」でも放映されました。



【中野先生による宇宙ステーションの話】



【生き方を問う、質の高い生徒インタビュー】